

令和3年度第1回川崎市政策評価審査委員会 議事録

日 時 令和4年1月24日(月) 午後2時30分～午後4時07分

場 所 川崎市役所第3庁舎5階 企画調整課会議室

出席者 委員 川崎委員長、松井副委員長、岩崎委員、久野委員、高尾委員、田島委員、星川委員、
三田委員、米林委員

市 側 宮崎総務企画局都市政策部長
神山総務企画局都市政策部企画調整課長
山井総務企画局都市政策部企画調整課担当課長
岸総務企画局都市政策部企画調整課担当課長
土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長
吉永総務企画局行政改革マネジメント推進室担当課長
小沢財政局財政部財政課担当課長

1 議 題

- (1) 令和2年度事務事業評価結果について
- (2) 川崎市政策評価審査委員会の部会構成について
- (3) 部会での審議対象施策の選定基準について

2 その他

- ・総合計画第3期実施計画素案について

公開及び非公開の別 公開

傍聴者 なし

議事

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

定刻より少し前でございますが、ただいまより令和3年度第1回川崎市政策評価審査委員会を開催いたします。

私は、総務企画局都市政策部企画調整課担当課長の土谷でございます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

初めに、本日の委員会につきましては、一部テレビ会議により実施しておりまして、川崎委員長、松井副委員長、岩崎委員、田島委員におかれましては、テレビ会議によりご出席をいただいております。

それでは、開会に当たりまして、総務企画局都市政策部長の宮崎からご挨拶をさせていただきます。

宮崎総務企画局都市政策部長

都市政策部長の宮崎でございます。非常にお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。また、オンラインでのご出席につきましても、ありがとうございます。この間、新型コロナウイルスの影響により、

予定通り開催できるかなど懸念もございましたが、無事に開催できることとなりました。本日から第2期の総括評価をご審議いただくものとなりまして、一つ大きな節目に向けての動きとなります。

一方で、第3期実施計画を2月上旬に市議会に報告する予定であり、急ピッチで最終のまとめに入っておりますが、そこでも成果指標についていただいた様々なアドバイスを参考にしながら、全庁的に見直しを図ってきたところでございます。これから検討いただきます総括評価につきましても、幅広いご意見をいただきながら、一つ一つステップアップしてまいりたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

続きまして、本日は、第2期実施計画の総括評価に向けまして、ご審議いただく部会の構成や、部会の審議対象施策の選定基準に関するご意見をいただきたいと考えております。委員会の終了時刻につきましては、16時30分頃を予定しております。

次に、会議の公開・非公開についてでございますが、本日の委員会は公開とさせていただいております。傍聴を許可しておりますこと、また、議事録作成のため会議中に録音することにつきまして、あらかじめご了承くださいと存じます。よろしくお願いいたします。

次に、本日配付の資料確認をさせていただきます。上から順番に、次第、名簿、座席表、資料1「令和2年度事務事業評価結果概要」、資料2「川崎市政策評価審査委員会について」、資料3「川崎市政策評価審査委員会・各部会構成(案)」、資料4「川崎市政策評価審査委員会 各部会における施策一覧」、資料5「部会での審議対象施策選定の考え方(案)」、資料6「総合計画第3期実施計画素案(抜粋)」、以下、参考資料となりますが、参考資料1「川崎市附属機関設置条例(抜粋)」、参考資料2「川崎市政策評価審査委員会運営要綱」、参考資料3「事務事業評価等及び施策評価に関する実施要綱」でございます。不足等がございましたら、事務局までお声かけをお願いいたします。

それでは、次第に従いまして議事に入らせていただきたいと存じます。

ここからは川崎委員長に議事進行をお願いしたいと存じます。

川崎委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

川崎委員長

今回からこの委員会では、第2期実施計画の総括評価に向けての審議になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速議事を進めてまいります。

議題1の(1)令和2年度事務事業評価結果について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

(資料1の内容に沿って説明)

川崎委員長

それでは、事務局からの説明に対して意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

本日は、一部、私を含めてテレビ会議で開催している関係から、ご発言される場合は挙手いただき、私からご指名させていただきますので、お名前を仰っていただいてからご発言をお願いいたします。

それでは、松井副委員長、よろしくお願いいたします。

松井副委員長

松井でございます。画面越しで申し訳ございません。よろしくお願いいたします。

今回の事務事業評価の結果ですが、例年との比較で言えば、やはり未達の部分が増えてしまったのは、現況を踏まえれば致し方がないと言わざるを得ないなという感想を持ったところです。他方で、4ページ目はかすかな光といいますか、希望を感じる場所がありますけれども、目標値を上回る部分も少なからずあったというのも、希望を抱けるかなというところが感想としてあります。

やはりこの結果を見て思ったところですが、要するに人流といいますか、人を動かしていくということを政策の指標にしている、つまりアウトカムではなく、アウトプットをかなり重視したことから、指標の達成度が未達になってしまったという認識も持ちました。当然、人がいなければ意欲も高まらず、意識も高まらないと言えますが、それ以外の認識の部分などを総合的に加味しながら評価することが今後必要と思います。

また、資料について、この3ページ目のスライドはまさにそうですが、結果は結果として見せざるを得ないものの、やはり新型コロナウイルス感染症の影響があったことも補足しながら公表を行うことが良いと感じます。私からの感想は以上です。

川崎委員長

ありがとうございます。

今の意見に対して事務局から何かありますか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

令和2年度の事務事業評価シートにつきましては、既に公表しているところでございますが、今年度は、なぜこの施策、取組が未達になったのか、理由をしっかりと記載するように徹底したところでございます。それを確認することによって、新型コロナウイルス感染症の影響なのか、またはそれ以外の影響なのかを含め、なぜ未達になったのか、しっかりと説明責任を果たせるような仕組みにしております。引き続き、令和3年度の事務事業につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けると考えているため、しっかりと記載を徹底するよう努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

川崎委員長

ありがとうございます。

ほかご意見、ご質問等ございますでしょうか。意見等ございましたら挙手をお願いします。

では、私から。川崎です。

質問、意見というよりも、やはり今回の結果は、副委員長が仰ったように、ある種、新型コロナウイルス感染症の影響のため仕方がないというか、ある程度予測できたところかと思います。ただ、我々が問わなければならないのは、やはり政策課題に対して、解決に向かう方向に向かっているかどうかという点であり、やはり新型コロナウイルス感染症に関係なく、問うていく必要性はあるかと思っております。そのような意味で、イベントに頼ってきたところは少し見直す必要があるほか、観光振興などについては、海外から人が来ないことは恐らく1、2年で解決するような話ではないと思うことから、海外から呼び込むという点を、ほかの地域や国内から呼び込むというような見直しも必要かと思いました。

後回しにしても良いものと、計画の前提が大きく変わってしまい、見直さざるを得ないものを、今回の評価を踏まえて、区分していく必要があると思いました。

一方で、電子化やマッチング、ICTといったキーワードも出てきたことから、うまく進められたものを

庁内で共有していただいて、どのように活用できるかを改めて検討し、政策課題の解決に向けて評価やプランを変えていくことも検討いただければと思います。私からは以上です。

ほか、ご意見、ご質問等よろしいですか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

委員長、よろしいでしょうか。事務局です。

少し補足でございますが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえまして、各所管課においても業務のあり方を見直すきっかけになったと考えております。川崎委員長からご指摘がありましたように、やはりICTやマッチングなどを活用して業務の効率化につなげていくことも今後必要と考えているため、その様な視点を持って、今後、関係局と連携しながら、政策課題の解決に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

川崎委員長

ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問ございますでしょうか。

それでは、議題の（２）川崎市政策評価審議委員会の部会構成について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（資料２～４の内容に沿って説明）

川崎委員長

ありがとうございます。

それでは、事務局の説明に対しましてご意見やご質問等ございましたらご発言いただければと思います。先ほどと同様に、挙手をいただいて、お名前を仰っていただいた上でご発言をお願いいたします。

いかがでしょうか。部会構成についてはよろしいですか。

ありがとうございます。市民委員の皆さんも大丈夫ですか。

それでは、事務局からご提案いただいた形で部会を構成してまいりたいと思います。

少し早いですけれども、次の議題が一番大きなトピックになると思いますので、議題の３番目に移ります。部会での審議対象施策の選定基準について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

（資料５の内容に沿って説明）

川崎委員長

ありがとうございます。

それでは、先ほど同様に、今の説明に対してご意見、ご質問がございましたらご発言をお願いいたします。高尾先生、お願いします。

高尾委員

高尾です。ご説明ありがとうございます。

選定基準をみると、私の属する第１部会（子育て・教育・福祉）は、全ての事業で本当に人と人が接す

ることが重要なものであるため、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けてない事業は一つもないのではないかと思います。そうすると、もちろん選ばなくてはならないのですが、前回や前々回に評価していたものであっても、かなり大きく変化しているものがあるという認識を持っており、医療体制など新型コロナウイルス感染症そのものと関係するという、反対にそれは今の時点で判断できるかどうかという大きな問題もありますが、そういう意味では、これまでのバランスを取ることと少し違った視点が必要になると感じているところです。

川崎委員長

ありがとうございます。事務局から今のご意見、ご質問に対して何かありますか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

高尾委員のご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響は様々な事業に影響しており、当然、新型コロナウイルスの影響によって社会変容等も起きていることから、資料にご提示しておりますように、状況等の変化から再度確認が必要という部分に合致してくると考えております。そのため、先ほど事務局からご説明させていただきましたとおり、各局にて施策評価シートの入力作業を行っておりますことから、その結果を踏まえ、ご提示させていただきながらご相談させていただければと考えております。

高尾委員

ありがとうございます。

川崎委員長

特に医療に関しては、今の時期では少々難しいところもあろうかと思いますので、評価を行う場合は、方向性なども考えながら進めないといけない部分もありますので、そのあたりも要相談かと思います。

神山総務企画局都市政策部企画調整課長

よろしいでしょうか。企画調整課長の神山でございます。

来年度に健康福祉局において、新型コロナウイルス感染症に関して振り返りを行い、課題等を抽出して検証する計画を立てております。そのため、その経過等を健康福祉局と相談させていただきながら、ご相談させていただきたいと思っております。

以上でございます。

川崎委員長

ありがとうございます。かなり対人サービスの多いところのため、慎重にお願いしたいと思っております。

他にございますでしょうか。

久野委員、お願いいたします。

久野委員

一つは質問ですが、成果指標の達成度が一つも把握できない施策とは何でしょうか。

それから、私は第3部会ですが、既に達成状況がAまたはBであって、社会経済状況に変化がないような事業は、今回は対象外ということですので、3ページに記載の「施策4-2-1 ベンチャー支援、起業・創業の推進」や、「施策4-2-5 ICTの活用による市民利便性の向上」は、今回、選定外となる施策と

ということですが、これについて意見を申し上げたいと思っています。社会情勢の変化が一見ないように見えますが、例えばベンチャー支援や起業・創業、ICTをはじめ、川崎市の強みって何だろうかということですが。審議対象施策の選定の考え方は、どちらかという目標を達成できていない施策を、どのようにして達成させるかという視点かと思えます。どの様にしたら効率よく、もっと効果的になるかという視点であり、ある程度の閾値に達すると、安定的に十分取り組んでいるため、このままで良いという判断かと思えます。一方で、ほかの地域や海外との関係で、川崎市の強みや、こんなに急激に伸びていることなど、通常の評価を相当飛び越えて、さらに進めている部分は見えていかないのかなと感じました。

今、世界で大激変が起きており、今までは、日本は創業が大事と言いつつも、結果として規模の大きな企業が頑張っているような風潮があり、新しい事業を起こすのは苦手でしたが、今ここに来て、世の中が変わり始めています。川崎市では、おそらくこの様な事例が多く出てくるものと想定していますので、この動きを目立たせていくような評価軸はないのかと思った次第です。

川崎委員長

ありがとうございます。今のご質問に対して事務局からございますでしょうか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

1点目のご質問でございますが、成果指標の達成度が一つも把握できていない施策については、我々もあまり無いと思っておりますが、例えば、複数年に1回アンケートを行って指標の結果としているものが、コロナ禍の影響でアンケートが延期になってしまい、結果が把握できないといった事例も想定としてはあるかと思っております。

事務局

補足ですが、例えば、施策4-7-1 広域的な交通網の整備では、都市拠点から羽田空港までの平均所要時間を少し短縮するという、かなり長期的に成果を見る必要がある成果指標を設定してございます。このような指標につきましては、計画策定時に現状の平均所要時間は記載しておりますが、最終的な成果は第3期実施計画の計画期間以降に目標値としてお示ししており、第2期実施計画では目標値がない施策もございまして。次回の委員会までには、このような施策を整理させていただきますが、今思い当たるものとしましては、このような施策でございます。

久野委員

非常にスパンが長い指標を想定しているということですね。分かりました。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

二つ目のご質問につきまして、先ほど高尾委員からいただいたご意見と重複するかもしれませんが、社会経済状況の変化にもしっかりと対応していく必要があるという視点におきましては、新型コロナウイルス感染症によって悪い影響を受けたものだけでなく、逆に良い影響を受けたものも評価の視点になると考えていることから、施策評価シートにおいて現状等を把握した上で、ご相談させていただきながら進めていければと考えております。

川崎委員長

ありがとうございます。

岩崎委員、お願いいたします。

岩崎委員

高尾委員と久野委員のご意見につながる話ですが、これまでの成果指標は、想定される安定した状況を前提に行われてきたところがあると思います。しかし、今回の新型コロナウイルス感染症の影響も含め、予測できない状況、あるいは今後起きる不測の事態が生じた場合に、その限定された状況の中で、どのように行政として住民に不利益が生じないように適切に努力して対応したかといった指標も必要かと思っております。以上です。

川崎委員長

ありがとうございます。今のご意見に対して事務局からございますか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

ありがとうございます。

その他の項目に挙げておりますが、第3期実施計画（素案）における指標の追加視点に、今まさに岩崎委員からご指摘いただいた視点が入っておりますので、後ほど詳しくご説明させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

川崎委員長

ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。

米林委員、お願いいたします。

米林委員

先ほどのご説明ありがとうございます。

選定の視点ですが、視点の5つは賛成です。一つ気になったのが、視点1と2を優先的にご提示いただくという部分で、私としては、場合によっては視点3も大事ではないかと思っております。先ほど高尾委員からご発言があったように、視点1は多くの方が新型コロナウイルス感染症によって色々と変わったと思います。そうなったときに、審議する優先順位としては、より重要度が高いものを審議することが大切なのではないかと思っております。その様な意味では、視点2ももちろん大切なのですが、私の中では視点3の「市が重点的に取組を進めており、かつ審議する必要性が高い施策」の優先順位は高いように受け止めています。その点いかがでしょうか。

川崎委員長

ありがとうございます。選定の視点の順番は優先順位ということではないという理解でよろしいですかね。そのあたりも含めてご説明いただければと思います。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

特に上から順に優先度が高いというものではございませんが、今回、特に新型コロナウイルス感染症の影響が大きいため、最初に掲載したところでございます。今、米林委員からご意見がございましたとおり、視点③も重要と考えておりますことから、その様な視点も入れながら、委員会の中で対象施策を決めていただきたいと考えております。

米林委員

資料の下部に視点①、②を優先的に提示すると書いているため、その部分が少々気になったという意味で質問させていただきました。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

こちらにつきましては、視点①と②を優先的に提示いたしますが、優先的に提示するもの以外も候補として上げていく予定でございますので、委員の皆様とご相談させていただきながら、対象施策を決めていただきたいと思っております。

米林委員

はい、分かりました。ありがとうございます。

川崎委員長

ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。

松井副委員長、お願いします。

松井副委員長

資料4を拝見していると、残された施策を5つの基準で当てはめてみたところ、12 施策を選べるのかなと思います。先んじて実施した施策は、かなり優先度が高い事業から選んでおりますし、進捗度が安定している事業を後追いにしてきたこともあると思います。もちろん新型コロナウイルス感染症に関する要件を踏まえれば全て該当するということがあります。視点⑤を考えると、12 施策も選べるかなと思います。事務局としては、12 施策は必ず選定できる見通しですか、教えてください。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

事務局といたしましては、できるだけ多くの施策を審議していただきたい意向はございますので、選定の視点を踏まえて 12 施策をピックアップさせていただきたいと考えておりますが、各委員から様々なご意見をいただいておりますので、いただいたご意見を踏まえ、提示する 12 施策以外に、それ以外の視点も踏まえた候補施策をお示しした上で、皆様に対象施策を決めていただきたいと考えております。

松井副委員長

何度も同じ施策を審議しても仕方がないところもありますが、例えば第1期実施計画の中間評価に審議したものなどはかなり期間も経過しておりますし、まさに社会状況の変化を直撃しているような分野もあると思います。例えば男女共同参画や女性の働き方などの要素は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたりしますので、その点を少し加味してもいいのかなという印象は持っています。そのため、全てが対象外である必要もないと思いますので、再度審議してもいいものは選んでもいいかもしれないと思います。これはコメントとさせていただきます。

川崎委員長

ありがとうございます。

それでは、田島委員、よろしく願いいたします。

田島委員

ありがとうございます。田島でございます。

先ほどの松井委員のコメントと重なるのですけれども、この委員会は今回が第2期実施計画における評価の2サイクル目と伺っていますが、この委員会の仕組みが今後も継続していくとするならば、施策によってはある程度のスパンで進捗状況を繰り返し見たほうが良い施策もあるように思っています。そのため、今回はまだ2期計画の3、4年目ですが、今後のことを踏まえると、5年に一度はこのような事業はチェックしたほうが良い、10年に一度は見たほうが良い、というようなことも考えの中に入れておく必要があると感じたところです。

川崎委員長

ありがとうございます。

今の意見に対して、事務局はいかがですか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

今回は第2期実施計画の総括評価となりますが、その後は、今策定しております第3期実施計画に向けて動いていくところでございますので、第3期実施計画を評価していく際は、田島委員からいただいたご指摘等も加味させていただきながら、しっかりと進行管理を行っていきたいと考えております。

川崎委員長

ありがとうございます。

ほかご意見、ご質問等ございますでしょうか。

では、私から1、2点、話をさせてください。

視点⑤の、これまで審議対象になっていない施策というのは、重要度が同じであった場合はこれを優先する程度にとどめていいかと思います。各委員が仰るように、継続的に観察・観測をしていった方がいい施策もあるでしょうから、リストの中から委員会で考えたいと思います。

また、事務局への要望ですが、今回、選定対象になる施策で、達成区分がAまたはBのようにずっと達成しているものをリストアップしていただいて、目標が低過ぎるのか、高い水準で推移しているのかをチェックしたいと思います。次回、選定外となる視点のリストを示されるとと思いますので、そのような評価を踏まえて選定から外すというプロセスを踏まえたほうが良いと思います。

成果指標の達成度が1つも把握できない施策も要注意です。「新型コロナウイルス感染症の影響で調査ができなかった」や「5年に1回しかデータがない」などの理由もあり得ると思いますが、その場合は、毎年把握できる指標を考えていただく等の要請をしないといけないものもあるかと思っておりますので、それもリストアップの際にお願いをしたいと思います。選定外となる視点エの「終了に数年度を要する事業」も同様に、総合計画の期間中に結果が出ないため分からないというものでは困りますので、事業の進捗具合が把握できるような工夫を市民の皆さんにお示しできるような情報を提供する必要があると思っておりますので、対応をお願いしたいと思います。

私からは以上ですが、これについて事務局は大丈夫ですか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

川崎委員長からご指摘いただきましたように、進捗管理を行っていく上で、複合的な要因があると思いま

す。新型コロナウイルス感染症以外の要因で達成率が下がっていたり、コロナ禍であっても順調に進捗している施策もあつたりすると思いますので、そういった要因がしっかりと分かるような資料をご提示させていただきまして、次回の選定の際にご活用いただけるよう準備させていただきます。よろしくお願ひいたします。

川崎委員長

では、委員の皆さんからご意見、ご質問等ございますか。

それでは、審議対象施策の選定の考え方については資料5のとおりとし、運用のところで、皆さんからいただいたご意見を踏まえ、優先順位や優劣に関して、次回審議をしながら考えていくということによろしいですか。

それでは、次回での審議対象施策の選定の考え方については、資料5のとおり進めていきたいと思ひます。どうもご審議ありがとうございました。

それでは、その他になります。総合計画第3期実施計画（素案）について、事務局からご説明をお願ひいたします。

事務局

（資料6の内容に沿って説明）

川崎委員長

ありがとうございます。

それでは、ご説明に対してご意見やご質問等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願ひいたします。ルールは先ほどと同じです。いかがでしょうか。

それでは、久野委員お願ひします。

久野委員

大変適切な第3期実施計画とその評価をご説明いただいて、内容的にも良いかと思ひます。

1つお聞きしたいのが、特に意識した事項の部分で、非常に重要な良いポイントだと思ひますが、①と②は分かるものの、③の施策の当事者（ターゲット）に焦点を当てた指標とは、例えばどういった指標でしょうか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

今まで指標の結果の取り方としまして、例えば施策のターゲットが子育て世帯に対するものだったとしても、市民アンケートで市民全体に聞いた結果を成果としているというようなことがありますので、ターゲットに焦点を当てた指標や成果の取り方が必要ということをお考えたところでございます。

久野委員

なるほど、よく分かりました。この3点とも非常に重要であつて、ありがたいと思ひます。皆さんの意見をきちっと踏まえていただいて、取り組んでいただいたのかなと思ひます。

川崎委員長

ほかにご意見、ご質問等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願ひします。

では、私から1つ。今回の実施計画のポイントの一つとして、変化に対する対応が何か所か出てきているかと思いますが、これはどのように評価に反映させるのでしょうか。つまり、継続性という意味では、これまでと同じ指標で達成状況を評価していくと思いますが、大きな変化があったときに、どのように評価するのかは、恐らく次回の評価基準にも関わってくるかと思いますが、事務局で案があるようでしたらご発言いただきたいと思いますが、委員の中でも意見交換をした方がいいと思います。まずは事務局から案や考えがあるようでしたらご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

川崎委員長からいただいた問いのお答えになっているか分かりませんが、基本的には新たな指標を設けることで、施策全体を総合的に評価するものと考えておりまして、新たな視点を入れることで、施策をより評価できるのではないかと、大きな視点としてあると思っております。

それを踏まえた上で、先ほどおっしゃられた継続性や、新たな変化に対応した視点を入れつつ、評価をしっかりと進めていければと考えております。

川崎委員長

ありがとうございます。

「総合的」というのは、なかなか難しいところでありまして、このあたりは皆さんと意見交換をして、共有しておく方が良いと思います。一つは、複数の指標の状況を見て、おおむね達成しているかどうかを評価するのが、これまでのやり方と思います。それですと、事務局が説明してくださったように、1つ、2つ新たな指標が加わることで、評価が少し薄まる程度になる可能性はありますが、やはりそれをどのように評価していくかは、少し認識を共有しておく必要があると思います。機械的に行ってしまうと、10個のうちの2個になってしまう施策もあれば、2個のうちの1個という施策も出てくると思います。この変化の部分については、今期の評価で少し特徴的なものが出てくるかと思いますが、このあたりはいかがですか。

では、田島委員お願いいたします。

田島委員

先ほどの同じ時系列で変化を取るかどうかという話とも関連すると思いますが、今回私たちが評価するのは第2期ですよ。今、27ページを見ながら話をしていますが、このサンプルは、第3期が終わった時点での成果指標がこの様に見えるといったイメージ図と考えてよろしいのかと思います。そうすると、変化が2期分ありますが、今回評価する際は、第1期と第2期分の指標が並んでいるものを見るのかと思っております。そうすると、今回については第1期に比べて第2期が改善したのか、横ばいなのか、そういったことが評価に入ってきて、第3期になったときに、継続している指標もあれば、新たに付け加わる指標もあるという形になるのだろうとイメージしましたが、事務局が考えていることとずれていないかを教えていただきたい。私としても、新たに指標が加わる際には、今までの指標とあまり混ぜて表示しないでいただいて、従来の指標は、折れ線グラフの様な変化が見えるようになった上で、さらに新たな指標が加わったことで、このようなことも把握できるようになりましたといった書き順になれば望ましいと感じているところです。

川崎委員長

ありがとうございます。事務局はどのように表示する形でしょうか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

まず、ご指摘いただきました27ページの表の見方でございますが、こちらは第3期実施計画の指標のページをそのまま引用しております、表をご覧になるとお分かりのとおり、指標の実績値は、左側が策定時、右側が現状となっております。現状は、直近で把握できている数値を入れるようにしております。その右側の指標の目標値は、1期、2期、3期となりまして、1期から設定している指標であれば、1期の目標値から記載しており、2期から設定した指標は1期の記載はなく2期から記載しており、3期から設定した指標は3期のみ記載している形になっておりますので、1期、2期、3期でどのような指標を設定して、現状がどのように変わったのかは、把握できるような形にしておりますけれども、より評価という視点で見やすくするためには、グラフを活用するなど必要かと思っております。

また、2点目のご指摘といたしまして、今回は第2期の総括評価を実施いただくものですが、田島委員からのご指摘のように、第1期と第2期の総括評価の結果を比較するところが大きいかと思えます。併せて、第2期の総括評価ですので、第2期中間評価までの前の2年間との比較も一つの要素になると思っております、それらを加味しながら評価いただきたいと考えております。

第3期実施計画につきましては、先ほど事務局からご説明させていただいたように、現時点で70程度の新たな指標を追加しておりますので、それらは第1期、第2期計画には当然なかった指標ですから、第3期計画の4年間でどう見ていくかが大きな要素になると思えます。それにつきましても、委員の先生方からご意見をいただきながら、しっかりと適正に評価できるように努めてまいりたいと思っております。

川崎委員長

ありがとうございます。

各々の指標について目標値と実績値が表示されて、どの程度達成されているかというのが継続的に表記され、変化に対する対応の部分は、新たな指標がこの下に付け加えられて表記される形になりますか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

そのとおりでございます。

川崎委員長

ありがとうございます。新旧の指標が混ざることにはなさそうですね、総括評価で我々が記載する際には、この点についても気をつけながら議論していく必要があると思えます。

ほか、皆様から何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

今回の総括評価では、最終年度やその前年について、新型コロナウイルス感染症の影響がかなり出ている可能性がありますので、プロセスが見えるものはそういった点も見ていただく必要があると思えます。

高尾委員

よろしいでしょうか。

成果指標の追加については、特にこの委員会で議論したことを反映していただいたということで、非常に感謝しております。その中で、前にも議論していただいた中で、はっきりとは覚えていませんが、幸福などと満足度などとの関係についても見たらどうかというような意見があったような気がします。今、国の骨太の方針の中で、計画にウェルビーイングのKPIを入れるという話が出ており、まさしく川崎市の総合計画自体がもともと幸せということを指標にしているということで、それを指標として捉えているのは非常に先行的・先進的な例だと思います。

そうすると、もちろん個別の政策なのですが、それぞれの幸せやウェルビーイングに関して、どの施策が

ひもづいているのかという点が、例えばアンケートの分析などで分かると、より説得力が増すのではないかと思ったところです。もし、この先そのような分析をすることがあるようでしたら、ぜひ分析していただけたらと思います。この成果指標が市民の幸福、住民の幸福などに結びついていることが分かると、非常にいいと思ったところです。

川崎委員長

ありがとうございます。おっしゃる点はよく分かりました。
事務局から何かありますでしょうか。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

市民の実感指標という形で、2年に一度、中間評価または総括評価のタイミングに合わせまして市民アンケートを実施してございまして、今回も来月に第2期実施計画の総括評価に向けて、市民の実感指標を把握する市民アンケートを行う予定です。今まで行っているアンケートの集計結果といたしましては、様々な項目を聞いておりますので、クロス集計等を行っております。

事務局

市民アンケートのクロス集計等に加えまして、市民アンケートの結果、特に満足度が低かったものについては、どのような理由で満足度が低いと感じていらっしゃるのか、自由意見などもしっかりと分析することで、次にその施策をどう進めていけば効果的なのか、より満足度が向上するののかという点をしっかりと把握するよう留意して進めるようにしております。

高尾委員

ありがとうございます。

川崎委員長

分析については、市役所だけで取り組むには少し限界があるかと思っておりますので、公開できる範囲において、それこそ法政大学や中央大学、都立大学も含めて、大学院生などに一定の手続のもとでデータを提供していただいて分析してもらうことも視野に入れていただければと思います。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

貴重なご提案ありがとうございます。

川崎委員長

ほか、いかがでしょうか。ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

それでは、議事は以上になりますが、その他、事務局から何かございましたらお願いしたいと思います。では、一旦ここで進行を事務局にお返しいたします。効率的なご審議をありがとうございました。

土谷総務企画局都市政策部企画調整課担当課長

ここまでの議事進行ありがとうございました。

それでは、閉会とさせていただきますが、事務連絡をさせていただきたいと存じます。次回の委員会につきましては、3月14日の月曜日でございます。本日と同様に午後2時半から、こちらの場所にて開催した

いと考えております。第2期実施計画の総括評価を行う審議対象施策の選定等についてご審議をいただきたくと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が大変流行しておりますので、皆様もぜひ感染予防にご留意いただき、併せてご自愛いただきたいと思います。

本日は以上でございます。長い間審議にご協力いただきましてありがとうございました。